

中東・イスラーム研究の課題と展望

ポストコロナ時代へむけて

日時 2022年1月8日(土) 13:00-17:00

場所 オンライン開催 (zoom) 要・事前申込 <https://forms.gle/f1hwhFASa07ZzZtV8>



全体司会：桐原 翠 (日本学術振興会)

主旨説明：末近浩太 (立命館大学)

中東・イスラーム研究の今日的地平 司会 小杉 泰 (立命館大学) 13:05-14:35

【基調講演】

長岡慎介

(京都大学)

「イスラーム経済から考える利己と利他」

佐藤麻理絵

(京都大学)

「難民が創造する人道支援：トルコ・シリア国境を超えて」

大庭竜太

(獨協医科大学)

「社会の新たな価値を探究する：中東・イスラーム研究の可能性」

質疑応答(15分間)

中東政治とイスラームを考える

司会 横田貴之 (明治大学) 14:45-15:40

望月 葵

(京都大学大学院)

「シリア難民をめぐるヨルダンの政治的ホスピタリティ」

米田優作

(立命館大学大学院)

「現代中東におけるサラフィー主義の実態的な理解に向けて：最近の研究動向から」

質疑応答(15分間)

イスラーム的制度の伝統と革新

司会 須永恵美子 (東京大学) 15:50-16:50

佐伯香織

(京都大学大学院)

「現代マレーシアにおけるイスラームの財産寄進制度(ワクフ)の伝統と再興」

中鉢夏輝

(京都大学大学院)

「イスラーム世界から学ぶ自然保護：インドネシアの環境ファトワー(法学見解)に着目して」

山口 潤

(京都大学大学院)

「イスラーム法から見た金融派生商品：その開発をめぐる論争を覗く」

質疑応答(15分間)

クロージングセッション

17:00-

主催・共催：立命館大学アジア・日本研究所、中東・イスラーム研究センター、国際地域研究所、京都大学イスラーム経済研究プロジェクト
科研費学術変革領域研究(A)「イスラーム信頼学」計画研究A01「イスラーム経済のモビリティと普遍性」(研究代表者：長岡慎介)
同上・公募研究A01「イスラーム福祉制度を通じた互助の信頼学：金融デジタル化を用いた寄進の新展開」(研究代表者：ハシヤン・アンマール)
科研費新学術領域「グローバル関係学」計画研究B02「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」(研究代表者：末近浩太)
科研費基盤A「現代イスラームにおける法源学の復権と政治・経済の新動向：過激派と対峙する主流派」(研究代表者：小杉泰)
科研費基盤B「イスラーム金融の新実践における初期規範理論の復権と発展的再構築」(研究代表者：長岡慎介)
科研費基盤B「アジア・ムスリム諸国の相互扶助の新展開：ポスト新自由主義期のイスラーム経済再構築」(研究代表者：ハシヤン・アンマール)
科研費基盤B「現代中東における政治と宗教：アラブの春以降のムスリム同胞団を事例に」(研究代表者：横田貴之)
科研費基盤B「計量テキスト分析を用いた現代中東における新たな政治的動員に関する実証研究」(研究代表者：末近浩太)
NIHUPプログラム「現代中東地域研究」京大拠点・第2班「イスラーム中道派研究班」・第3班「イスラーム経済研究班」
連絡先：17v00017@gst.ritsumei.ac.jp (担当：二宮)